

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ニューヨーク総領事館

記入日 2015年5月

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

資料名：新築住宅着工許可件数（連邦統計局）（ニューヨーク都市圏を選択可能。
また、金額ベースも選択可能。）（2015年4月）

URL：<http://www.census.gov/construction/bps/msamonthly.html>

資料名：ニューヨーク住宅価格指数（S&P Dow Jones Indices LLC）（2015年
3月）（以下のリンクからニューヨークのみを選択可能。）

URL：

<http://us.spindices.com/indices/real-estate/sp-case-shiller-20-city-composite-home-price-index>

2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向（改正等がなければ記入不要）

特になし。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	「オバマ政権がハドソン河の地下を通る鉄道の新トンネル建設の第一歩を促す」：ニュージャージー州とニューヨーク市マンハッタンを結ぶハドソン河の地下トンネルは、建設後105年が経ち、大規模修繕が急務。手遅れとなる前に代替トンネルを建設する必要があるとオバマ政権は判断。当該プロジェクトは少なくとも80億ドル規模。ホワイトハウスでは、「Gateway project」として最優先プロジェクトと位置付け、連邦補助金で1/2負担可能との由。また、アムトラック（全米展開の鉄道会社）によると、ハリケー	5/8/2015 New York Times

	ンサンディによって現トンネルの内側の壁は相当なダメージを受けており、修理が必要な状況。代替トンネルがない場合は、1時間あたり24本運行している通勤鉄道が6本に減る見込みであり、ニューヨーク及びニュージャージーに亘る地域経済に大打撃。連邦運輸省のロゴフ次官がマンハッタンに出向き関係者に投資への決断を促した。	
2	「ついにラガーディア空港のターミナル建て替え事業者決定」：5月28日、ニューヨーク・ニュージャージー港湾公社は、ラガーディア空港のメインターミナル（ターミナルB）の建て替え事業をスカンスカ USA（建設）、ヴァンテージエアポートグループ（バンクーバー空港のオペレーター）、モルガンスタンレー（金融）、シティグループ（金融）等のコンソーシアムが受注することを決定。同事業はPPPで実施されるため、コンソーシアムは、事業完了後のターミナルからの賃料収入やエアラインからの料金収入で事業費を賄うこととなる。コンソーシアムはターミナルを35年間リース。事業費約36億ドル。コンソーシアム側は約20億ドルを自己調達し、港湾公社側は約15億ドルを拠出。6年間で新ターミナルは完成する見込み。 今後、JFK 空港のターミナル建て替え事業も動き出す可能性。	5/28/2015 Crain's New York Business 5/29/2015 New York Times 5/29/2015 Wall Street Journal

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

①	2014年のNY市における建設投資は360億ドルに達し、2013年から26%増。ここ20年間で最高値を記録。2014年、建設産業は約12万3000人を雇用。関係資料については、NYビルディング連合会（New York Building Congress: NYBC）HP: http://www.buildingcongress.com/outlook/043015.html に掲載されている。
---	--